



赤堀棉雄の林材レポート レポート vol.11

山への思いを受け継ぐ 受け継がれて来たことに価値がある

スギやヒノキの人工林は何世代もかけて育てられる



Like 0

ポスト

国産材と林業振興のために、所有と経営の分離、集約的な経営をめざす政策が進められています。今の山の現状にとって必要なことではあるかもしれませんが、それだけでは、山を後世に受け継いでいくことはできるのでしょうか？

林材ジャーナリストの赤堀棉雄さん、お父さんの跡を継ごうと林業の世界に飛び込んだミドリちゃん、その山の木を使った家づくりに携わる大工のよっちゃんの3人が、山でのイベントの帰りに、飲み屋で語り合います。

先人の汗と足あとを思う

-  さあて親方、一杯どうぞ。
-  おう。
-  きょうはわざわざありがとうございます。
-  いやいや、オレも勉強になったよ。誘ってくれてありがとうよ。
-  最近なかなか山に行く機会がないって言ってたもね。きょうは久しぶりだったんじゃない？
-  まあな。それにしてもスギさんの山は相変わらず手入れが行き届いてるよな。ミドリちゃんみたいな立派な後継者もいるんだし、うらやましくなるぜ。
-  立派だなんて...、私なんかまだまだです。
-  ご謙遜。きょうのイベントは一般の人に林業のことを知ってもらうのが目的だって言ってたよな。林業がどんな仕事なのかって、ミドリちゃんの説明はわかりやすくてよかったよ。熱も入ってたしな。みんな聞き入ってたじゃねえか。
-  ホント、きょうはよかったよ。
-  ありがとうございます。
-  それと親父さんのスギさん、あの話もよかったな？
-  聞き入っちゃったよね。
-  私もです。父があんなに力を入れて話すのを初めて見ました。
-  ふだんはあんなにしゃべらないもんな。
-  どちらかと言えば寡黙な方だよな。でも、きょうもあまり言葉は多くなかったけど、伝わるものがあったよね。
-  いまこうして木が育ってるということは、この山の中にはずっと昔からたくさん汗がしみ込んでいて、数えきれない足跡があるんです。なんてくだりは本当にグツときちゃったぜ。
-  そのことを思うと、今が厳しいからといって山をやめることはできません、とこう続けるんだもね。参ったよなあ。
-  あの話聞いた後は、山がまるで違って見えるようになったよ。枝打ちなんかも一気にやるんじゃないかって、毎年少しづつやるってんだろう？
-  そうですね、ウチでは毎年1尺（約30cm）分の高さしか枝を打ってはいけないうて言われてます。あまり一気に枝を落とすと木に負担がかかってしまうので。
-  それでいて10mくらいも枝をざっくり打ってあるんだから、毎年毎年じっくり念入りに手をかけてきてるってことだよな。そうした育て方を何世代にもわたって続けてきたなんて、それほど大事に育てられてきた木をこりゃあおろそかにできねえぞって身が引き締まるような思いがしたぜ。
-  そこらじゅうに汗がしみ込んでいて、足あとがあるっていうのは、本当のことなんだよね。これは改めて大切にしないきゃ。ミドリちゃんにもそんな思いがあるでしょ？
-  はい...



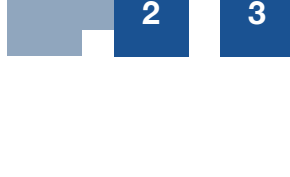
長く住み継がれるような家を作りたい

木をつくる人がいて、使う人がいて

-  山の場合は、手入れする人がいるだけでは成り立たなくて、親方みたいな大工さんたちが木を大事に使ってくれることで支えられてるっていう面もあるよね。
-  本当にそうです。私たち、良い木に育てようって一生懸命手をかけてきてるんですけど、最近は木の質があまり重視されなくなってますよね。そのことがよくしくて。
-  合板や集成材は強度がどうかってことは重視するけど、ほかのことはあまり気にしないもんな。製材だって最近では木の個性を生かすっていうより、大量に生産して、人工乾燥をかけてって、製造工程で均質化していくやり方が主流になってるからなあ。
-  困ったもんだぜ。木ってのは1本1本個性があるわけだろ。その個性をより良く生かして使うのが本筋よ。それが流行らねえなんて、おかしな世の中になっちゃったもんだぜ。
-  だからこそ、親方さんたちのような大工さんがいてくれるのが心強いんです。ウチはきれいな山を展示して見せる目的で木を育ててるんじゃないかって、あくまでも生業としてやってますから。きちんと使ってくださるからこそ、こちら山をやっているんだなって思うとありがたいくて。
-  その意味じゃ木を生かして使う大工さんたちがい続けてくれたから、山も続いてきたって言えるよね。そういう使い方や大事に使おうっていう心構えも受け継がれてきたってわけだ。親方、すごいじゃん。
-  よせやい。オレっちなんてまだまださ。この木の命を何とか家の形で生かしたそうって頑張ってるつもりだけだよ。
-  親方さんの家はそうなりますよ。ああ、こうやって生かしてもらって、この木はなんて幸せなんだろうって思いますもの。
-  うれしいことを言ってくれるねえ。さ、ミドリちゃん、きょうはどどんやってくんな。勘定はオレが持つから。
-  やった。すみませーん、この大吟醸をひとつ、お願いします。
-  おいおい、お前さんもかい。まあいいや。お姉さん、同じのをオレにも頼まあ。

Like 0

ポスト



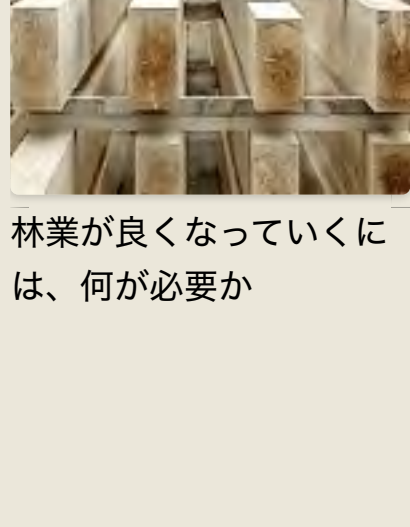
何世代にもわたって慈しまれてきた高齢木



関連する記事はこちら



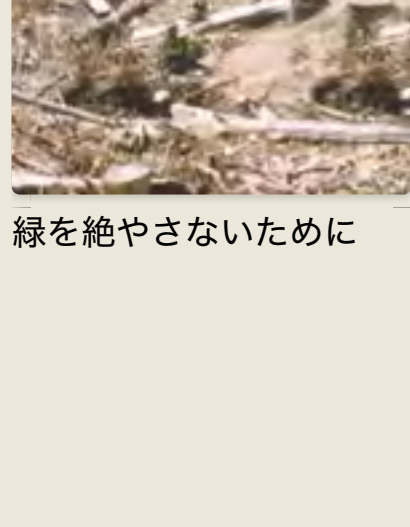
森林・林業・地域再生を目指して



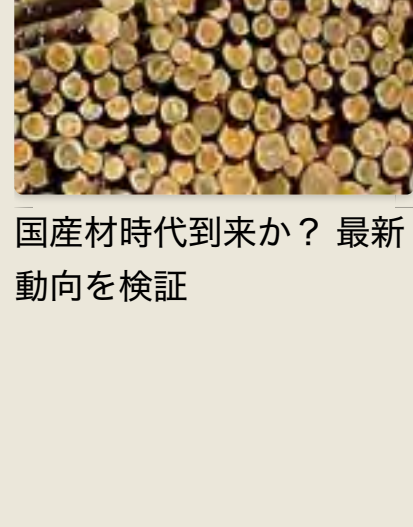
林業が良くなっていくには、何が必要か



山里の暮らしがなくなる？



緑を絶やさないために



国産材時代到来か？最新動向を検証

木の家ネットとは

つくり手リスト

特集

入会案内

イベントカレンダー

問合せ

赤堀楠雄の 林材レポート レポート vol.1.1

山へ思いを受け継ぐ
政府の改革にどう対応するか

今後進められる林業改革では効率化が重要テーマになる

1

2

3

Like 0

ポスト

木の家のイベントカレンダー

最近の特集記事

2019年5月27日
伝統建築に携わる
すべての職人に光
を

2018年5月7日
「伝統建築工匠の
技」木造建築物を
受け継ぐための伝
統技術。ユネスコ
無形文化遺産候補
認定のおしらせ

2018年5月2日
新築特別企画 2017
年のベストショッ
ト

2017年12月14日
第17期木の家ネッ
ト総会・倉庫大会・
鳥家改修と鳥家

2017年10月14日
気候風土適応住宅
のチラシができた
した！

2017年5月4日
家のお風呂 こう
やって作る。こう
やって保つ

2017年6月8日
家にお風呂が入る
まで

2017年6月30日
気候風土適応住宅
のスヌ

2017年5月3日
山形総会 3

2017年5月31日
富川総会 2

人気のある記事

伊勢神宮造宮・御
仙姫祭り：300年
の大本を伝える！
17件のビュー

家のお風呂 こう
やって作る。こう
やって保つ
15件のビュー

冬の温熱調査報告
報告
15件のビュー

大工たちによる
「家屋しり」の記録
14件のビュー

込み栓角ノミ 復
活！杉井鉄工所訪
問記
14件のビュー

古川 俊の熊本市川
尻町 震災日記
11件のビュー

設計士・丹羽明人
さん(丹羽明人アト
リィ)：納得できる
客先と
11件のビュー

工務店・西條正幸
さん(ビブラス西
條デザイン)：北海
道で無垢の木の家
づくり
10件のビュー

設計士・川原眞さ
ん(川原建築設計
画)：小さな石場
建ての家
9件のビュー

第11期木の家ネッ
ト総会 鳥家大会
大会レポート

この記事のタグ

日本の山河を守りたい

赤堀楠雄の林材レポート

同じタグがついた別の記事

2006年5月25日
「林業をやる」ってどんなこ
と？

2007年11月25日
木の家ネット第七期総会・徳島
大会レポート

2006年5月25日
林業・和田善行さん(TSウッド
協同組合)：山側から提案する
家づくり

2007年5月25日
日本人の暮らしと木

2008年5月30日
山道の暮らしがなくなる？

林業経営のスタイルはさまざま

ミドリちゃん ところでミドリちゃんのところは、林業の規模として、大きな方なのかい？

ウチ なんか全然ですよ。70haくらいしかありませんし。

ミドリちゃん 立ち入ったことを聞くようだが、そのくらいの面積だと経営の方はどうなんだい？

ウチ うん、まあ業ではないです。幸い、ウチはきょう見ていただいたような良い山が比較ある方なので、何とかやってますけど、それでも木材だけだと厳しいというのが正直なところですよ。

ミドリちゃん あれ、何か副業もやってたんだっけか？

ウチ 何言ってんだよ、親方。いつも立派な干し椎茸をもらっててでしょ。あれだってミドリちゃんできてるんだぜ。

ミドリちゃん ああそうか。

ウチ 椎茸も輸入品が多くて業じゃないんですけどね。あと、ウチでは山菜やその加工品なんかも作っていて、道の駅や直売所で販売してます。この収入も大きいんですよ。もっともそっちの方は祖父母や母が主力で、私はあまり手伝っていないんですけど。

ミドリちゃん ふーん、いろいろやってるんだなあ。

ウチ は專業林家ですけど、林業って本当に幅が広いなっているんです。山を手入れして、椎茸や山菜も販売して、そうやってさまざまな山の恵みを生かしながらこの地域で暮らしている、それがウチにとっての林業なんです。

ミドリちゃん いわゆる「自伐林家」（持ち山の手入れや伐採といった現場作業に自ら携わる林家のこと）という人たちはそういう経営スタイルが多いよね。

ミドリちゃん なるほどねえ。林業って言うとき木を売って食べてるってイメージがあるけど、いろいろなんだな。

ミドリちゃん もちろん木材だけでやる人もいれるけど。でもそれにはある程度の規模が必要だし、昔ならともかく丸太の価格がこれほど安いんだから「大規模山林所有者」って言われる人たちも苦しいと思うよ。

ウチ うちの所有面積だったら、会社勤めや農業との兼業という人もけっこういますよ。林業だけだと厳しいですから。

ミドリちゃん よく日本の山は所有規模が零細だって言うよな。林家の7割とか8割は所有面積が5haにも満たないって聞いたことがあるぞ。そんな人たちはどうしてるんだろう？

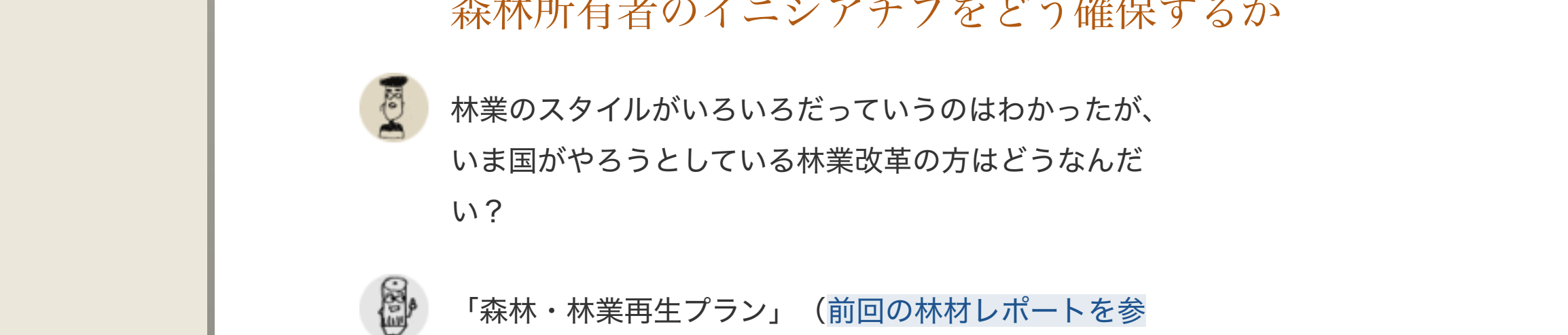
ウチ そういう人たちは林家というより、農家だったり、普通のサラリーマンだったりで、山の管理は森林組合や林業会社に任せているというのがほとんどです。

ミドリちゃん よ：ふーん、山持ちさんもういろいろなんだな。

森林所有者のインシアチブをどう確保するか

ミドリちゃん 林業のスタイルがいろいろだっていうのはわかったが、いま国がやるうとして林業改革の方はどうなんだい？

ウチ 「森林・林業再生プラン」（前回の林材レポートを参照）のことだよな。小規模な林地を取りまとめて効率的な経営を実現しようっていうのが眼目かな。いわゆる「集約化」ってやつだよな。それと作業道の整備。これが今回の改革の二本柱だね。



「森林・林業再生プラン イメージ図」をクリックすると拡大表示します。

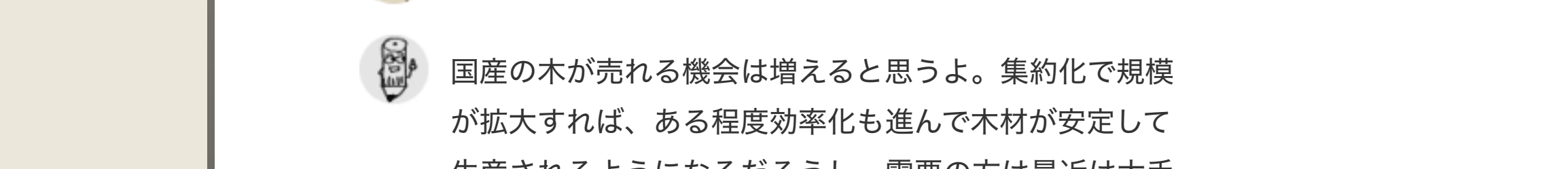
ミドリちゃん それで林業は本当に元気になるのかい？

ウチ 国産の木が売れる機会は増えると思うよ。集約化で規模が拡大すれば、ある程度効率化も進んで木材が安定して生産されるようになるだろうし、需要の方は最近は大手ハウスメーカーでも国産材を使おうって真剣に考えてるみたいだから、ある程度は期待できるだろうしね。

ミドリちゃん 最近じゃ合板業界も国産材にご執心だしな。

ウチ あれ？ ふだん合板なんか使っていないのによく知ってるね。

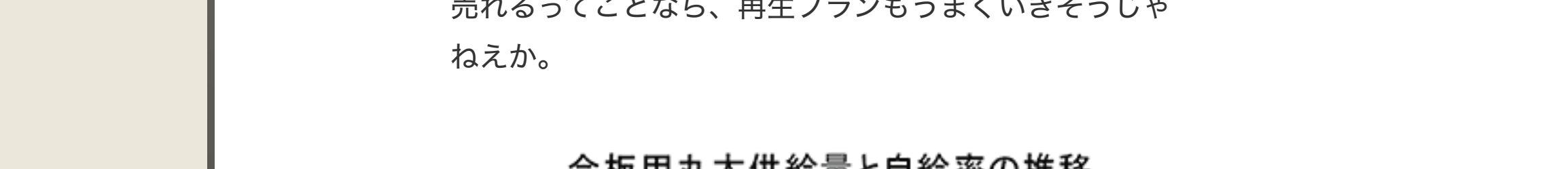
ミドリちゃん それくらい知ってらいい。だがよ、そうやって国産の木が売れるってことなら、再生プランもうまくいこうじゃねえか。



国内合板メーカーの使用原料（丸太）の内訳。ここ10年ほどで国産材化が急速に進んでいる。

ミドリちゃん でも今回の改革では価格対策は何も打ち出されていないんだよね。経費を下げて、その分、利益を浮かそうって発想なんだけど、値段が下がっちゃったら元も子もないでしょ。それに集約化っていうけど、ミドリちゃんたちみたいな中規模の自伐林家をどうするかという問題もあるし。

ウチ は70haを持ってるとはいえ、1力所にまとめるわけではないので、ひとつひとつの規模は小さいんですよ。幸い主力の林地は30ha以上のまとまりがあるので、施策計画を立てて補助金の優遇も受けられたんですけど、新しい制度にどう対応しようか、まだ決めかねてるんですよ。



ミドリちゃん なんだい、その施策計画ってやつは？

ウチ 所有者が自分の山をどうやって経営するか計画を立てて認定してもらう仕組みがあるんだよ。認定されれば補助金がかさ上げされたり、所得税や法人税の特例も受けられるから、意欲的な林家の多くは施策計画を立ててるはずだよ。ただ、計画の対象になる森林は30ha以上という条件があるから、対応できない人も多いんだよね。

ウチ でもその面積に満たない山があるので、隣りの人と共同で計画を立てたりしますが、それがうまくいかないところは計画なしで経営してきたんです。優遇措置は受けられないとはいえ、補助金は使えるので、ただ、新しい政策では、計画制度が改革されて、面積の条件がもっと大きくなると聞いてますし、今後は計画を立てなければ補助金が使えなくなるらしいので、どうしようか、迷ってるんですよ。

ミドリちゃん 名前も森林施策計画から「森林経営計画」に変わるんだよね。計画が立てられたら山に補助金を出すことにして、集約化を一気に進めようというのが政府の青写真なわけだ。

ウチ つまりはどうしても規模拡大をしるって迫られてるわけだね。

ウチ 仕方がないから地域で相談して計画は共同で立てようかって話はいります。でも、個々の所有者が自分の持ち山を独自の方針で経営することができるとか、そのあたりがよくわからないので困ってるんです。

ミドリちゃん 計画を立てるときには森林組合に協力してもらいましょう。

ウチ 計画自体は森林組合が立てる形になるかもしれません。

ミドリちゃん だったら、組合とよく相談しておく必要があるね。計画は共同で立てるけど、自分の山は自分でやるから、そういう配慮をしてくれって。

ウチ この地域は規模が小さくても他の仕事もしながら山を一生懸命やってる林家が多いんです。組合もそういう事情はわかってくれていて、所有者のインシアチブが確保されるような内容の計画を立てようって言ってくれています。

ミドリちゃん ここは森林組合はしっかりしてるからな。でもほかの地区はどうかなあ。新しい制度を杓子定規に推進することばかり考えてたら、所有者の意思が反映されなくなる可能性もあるだろうな。



ミドリちゃん どういうことだい？

ウチ つまり、経営計画で集約化された山を組合なり林業会社なりが一手に引き受けて経営するようにするわけさ。

ミドリちゃん なるほど、そりゃあそれで効率上がりそうだな。

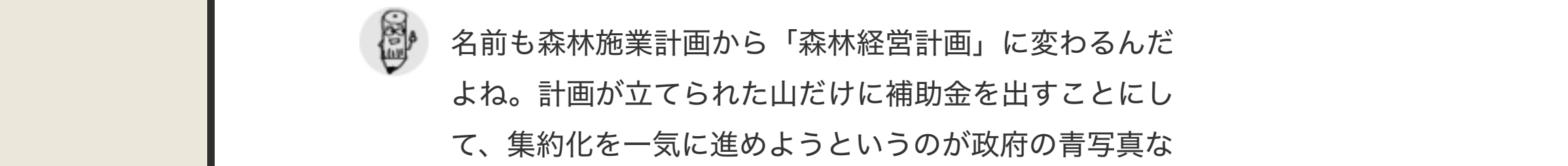
ウチ うん、政府が目指してるのもその形なんだよね。たしかに、山に思い入れがありなくて、単体では経営にまでは至らない所有者の山は集約化していった方がいいんだろうけれど、逆に山に思い入れのある所有者が自分の山に関われなくなるケースだって出てきちゃうんですよ。この地域みたいに所有者に意欲がある場合はそれじゃあまらずいよね。だから今回の改革は、地域事情を踏まえた形で新しい制度を利用できるかどうかにかかってると思うな。

ウチ 私たちもそう思うって、この地域でひとつのモデルを示そうとは思ってるんです。計画は共同で立てるけど、自分の山はそれぞれが面倒を見てしっかりやっていけるようにしようって。

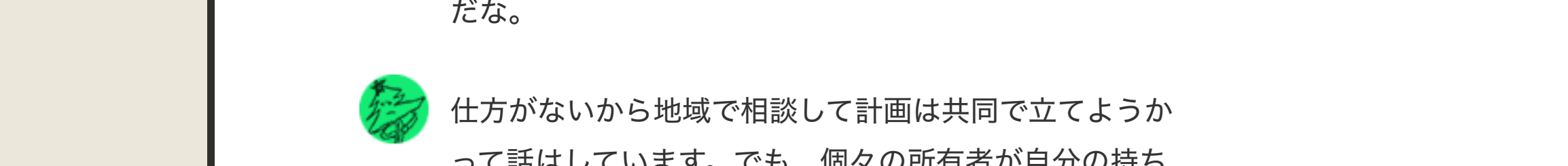
ミドリちゃん そうか、ミドリちゃん、がんばれよ。

ウチ はい。

林内に並べられた椎茸のほた木。椎茸生産を副業にしている林家は多い



関連する記事はこちら



森林・林業・地域再生を目指す

林業が良くなっていくには、何が必要か

山に暮らしかなくなる？

緑を絶やさないために

国産材時代到来か？ 最新動向を検証

北海道・東北	関東（東京以外）	甲信越・北陸	関東	中国・四国	九州
北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県	栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 静岡県 愛知県 岐阜県 長野県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 和歌山県	鳥取県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県



山への思いを受け継ぐ
山村の暮らしが林業を支えている

1 2 3

Like 0 % ポスト

人工林を更新させる目途が立たない

じつは、再生プランがうまくいって当座のところ国産材が売れるようになっていったとしても、その先の林業が見えなくて困ってるんです。いまある木はどんどん育ってゐるんですけど、その後を受け継ぐ若い山がだんだん少なくなってるので、将来のことを考えると心配なんです。

若い山が減ってるって、そりゃあ植えてないってことかい？

いまは皆伐をほとんどやりませんから植える機会がないんです。これまでだと60年生くらいにもなれば皆伐して、新しい山をつくるために植林してきたんですけど、皆伐して木を売っても丸太の価格が安いから、伐採や搬出の経費を差し引くと、植林する費用が残らないんです。だからうちも皆伐はしないで、少しずつ間伐しながらまわしていくことにしてるんですけど…

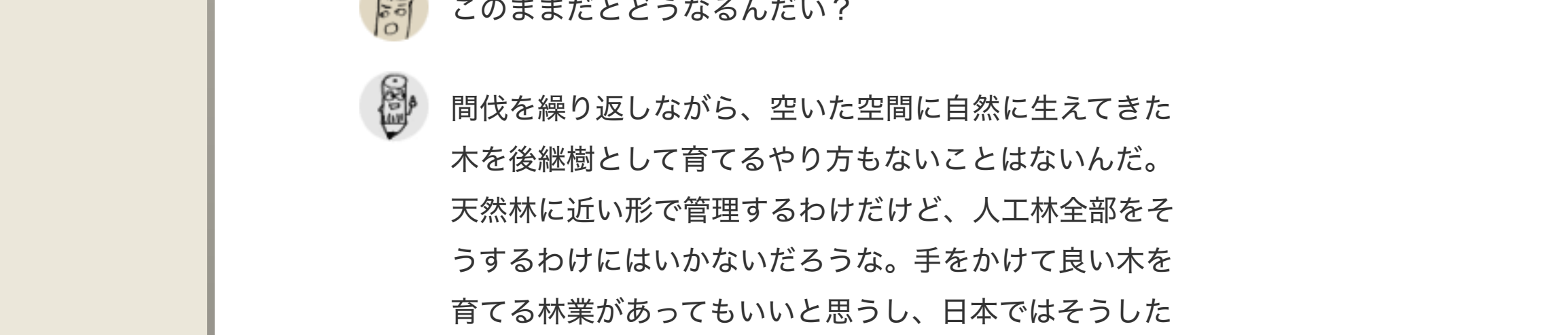
そうか、ミドリちゃんのとこの木は間伐材なんだな。間伐材って言ってもあんな立派な木もあるんだから、世間で思ってるのとはだいぶ違うよな。

間伐材イコール低質材っていう考え方はやめてほしいです。

そりゃあそうだな。で、間伐でまわすことでの不安てのは何だい？

もう10年くらいもそういうやり方してるんですけど、その間はまったく植林をしてないんですよ。間伐しながら大きな木に育てていくのはいいんですけど、若い木がないっていうのは不安なんですよ。大きく育った山もいつかは皆伐して新しい山をつくるということになると思うんですけど、そのときには後を継ぐ木がなくてゼロからのスタートになってしまうのかもしれない。

これはミドリちゃんのところだけじゃなくて、人工林全体の問題だよ。40?50年前に拡大造林でスギやヒノキを大量に植えたわけだけど、いま40?50年生に育ってきたその山に資源が偏ってるんだよね。



平成19年3月31日時点のデータ（林野庁業務資料）。8710齢級（36年生750年生）の林分が多く、若齢林が少ない（1齢級は175年生。以下、5年ごとに齢級が増える）

木が安くて植え替えのメドが立たないってのが問題なんだな。

本当は若い山から壮齢林と言われるような山まで、面積が均等になっているのがいいんだよね。そうすれば伐ったら植えるを繰り返しながら、継続的に木材を生産できるでしょ。

このままだとどうなるんだい？

間伐を繰り返しながら、空いた空間に自然に生えてきた木を後継樹として育てるやり方でもないとはなんだ。天然林に近い形で管理するわけだけど、人工林全部をそうするわけにはいかないだろうな。手をかけて良い木を育てる林業があってもいいと思うし、日本ではそうした技術をずっと受け継いできてるわけだしね。

となると、どっかで皆伐しなくちゃねえってことだな。

そのメドが立たないので心配なんです。再生プランでは経費を下げることでばかり言われてるんですけど、さっきも言ったように丸太の価格が下がってしまえば、いくら経費をカットしても林家の手元に残るお金は増えないわけですから、植林まではできない。こんな状況で、林業は持続可能だなんて言えるのかしらって思います。

難しいもんだな。いったいどうすればいいんだい？

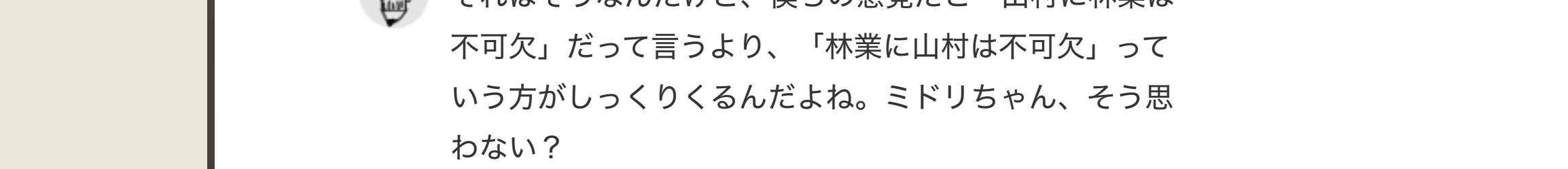
うーん…

唸ってねえで良い手を教えてくれよ。

それが分かればね。でもはっきりしてるのは、木の個性を生かした使われ方がなければ、手をかけて木を育てる林業はやっていけないってこと。そういう使われ方が増えれば、良い木はそれなりの評価で売れて林家にも植林費用が残るだろうし、新しい山を育てようという意欲も湧くしね。

本当にそうです。親方さん、お願いします。

そういうことなら任してくな。本筋の木の家づくりが増えるようになって、オレたちも頑張るからよ。



国産カラマツの集成材を利用した分譲住宅。ハウスメーカーや有力ビルダーの間では国産材にシフトする動きが顕著だ

山をおろそかに思わない人たちを大切にしたい

もうひとつ問題なのは、山村がこれからどうなるかってことだよな。この間、あるシンポジウムに行ったときのこともんだけど、今の林業改革を進めている政府の関係者がバネラーをやっていて、「山村に林業は不可欠です」って言ってたんだよな。

そりゃあその人の言うとおりだろう。

それはそうなんだけど、僕らの感覚だと「山村に林業は不可欠」だって言うより、「林業に山村は不可欠」っていう方がしっくりくるんだよな。ミドリちゃん、そう思わない？

ああ、何となくわかるような気がします。

ええ？ なんかかやこしい話だな。ちゃんと説明してくれよ。

言葉通りの意味さ。特にミドリちゃんの家みたいな自伐林家の場合はさ、山村に暮らしているからこそ山への思い入れも濃くし、林業を一生懸命やるようになるんじゃないかと思うんだよな。スギさんが山にはたくさんの汗がしみ込んでからとか、たくさんの足跡があるからとか言ってる林業を頑張ってるのも、自分が山村で暮らしてるからこそなんじゃないかなあ。

私たち自伐林家はみんなそうだと思いますよ。

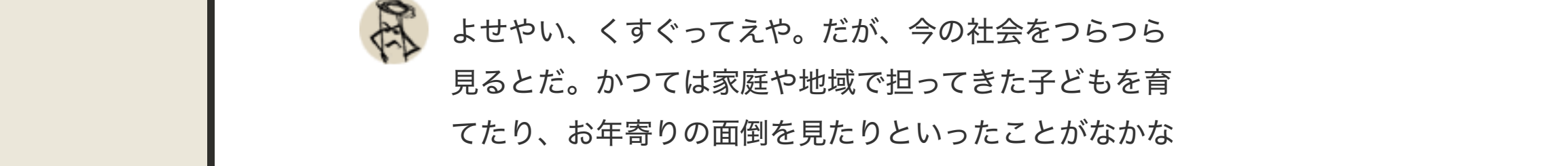
そういう人たちは山村の重要な構成メンバーでもあるわけだよな。彼らがいなくて林業、つまり山づくりは成り立たないし、彼らがいることで山村も継続できる。今の山村が過疎高齢化で疲弊しているのは事実だけど、山を良い形に保つには山をおろそかに思わない人たちが暮らす山村がどうしても不可欠なんだと思う。だから、山村に暮らしてる自伐林家をもっと大事にする必要があるんだよ。

さっきの話だと、自伐林家が新しい何かと計画でどう扱われるのかわからないってことだったよな。お前さん、そこが今回の改革で不満なところなんだな。

例えば所有規模が小さくて林業単体では食べていけなくても、農業やったり、勤めに出たりしながら、林業に一生懸命関わってきた人たちはいるんだよな。そういう人たちが規模が小さいからと言って、集約化の流れの中に組み込まれてしまっって、自分の山に対するイニシアチブが取れなくなるのはおかしいと思うんだ。

山への意欲がなくなっちゃうかもしれないよね。ウチなんかも、そうしたら都会に出て勤めでもした方がいやってことになっちゃうかもしれないな。

さっきの繰り返しになるけど、新しい経営計画の制度が、集約化によるコストダウンだけを画一的に目指すのではなく、山に携わることに思い入れを持つ人たちの地域離れを誘発しかねないということを行政や森林組合にはよく考えてほしいな。



自伐林家が所有林の経営に携われるようにしたい

地域づくりが森づくり、国づくりにつながる

なるほどなあ。お前さんたちの考えることがだんだんわかってきたよ。つまり、あれだけの家庭には子どもが不可欠かって言われればよ、お子さんがいない家庭もあるし、そこはいるいるあらあな。だが、子どもに家庭は不可欠かって聞かれれば、そりゃあ不可欠に決まってる。怒る時も、かわいがる時も、ある意味で容赦しないような関係があってこそ、子どもはちゃんと育つもんさ。林業と山村の関係もそれと同じことだよ。

そうだよ、親方、わかってるじゃん。

よせやい、くすぐってえや。だが、今の社会をつらつら見るとだ。かつては家庭や地域で担ってきた子どもを育てたり、お年寄りの面倒を見たりといったことがなかなか難しくなってる現実もあるよな。だから、社会がそれを担おうてんで、保育や介護のシステムを作り上げて、そこにビジネスの考えを持ち込んでくる。それが必要ないとは言わないけど、あくまでも足りない部分を補うものであってさ、大事なものはやっぱり家庭や地域が担うってことであるはずなんだよ。ところが、そっちの方が難しいってんで社会のシステムに委ねようとする。なんか林業と似てないかい。

ホントだね。林業も所有者が自分の手には握られなくなってるからって、ビジネスとして成立させる枠組みを政策的に作り上げて、それにすべてを委ねようとする流れが確かにあるな。

家庭や地域がよくなるにはどうするかって視点がやっぱり必要ですよな。それでビジネス的な損得勘定だけでは解決策を見い出せないんじゃないかな。

だから山の場合は効率化を進めるだけじゃなくて、山に思い入れを持つ人たちが暮らす山村を大事にしようという視点が不可欠なき。熱心な自伐林家のイニシアチブを確保するのももちろんだし、例えば教育や医療の充実を確保して暮らしやすい環境を整えたりということも林業振興に通じるし、国づくりに必要なんだと思う。森と人との関係を良くして、それが受け継がれることになるんだから。

だな。オレたちも及ばずながら力になるぜ。消費者の人たちに山のことや木のことをもっとわかってもらってよ、山のみなさんの思いをおろそかにしないような木の家づくりがどんどん広まるように頑張るぜ。

ありがとうございます。

こういう輪が広がれば、必ず良い方向に行くよな。親方、また山に来てよ。誘うからさ。

おうよ。今度は仲間やお客さん、お客さんにしたい人たちも引き連れて大勢で押しかけるぜ。楽しみにしててくんな。

お待ちしてます！

Like 0 % ポスト

1 2 3



関連する記事はこちら

- 森林・林業・地域再生を目指す
- 林業が良くなっていくには、何が必要か
- 山への暮らしがなくなると？
- 緑を絶やさないために
- 国産材時代到来か？ 最新動向を検証

木の家イベントカレンダー

最近の特集記事

2016年12月23日
古川 隆会

2016年6月2日
込み松角ノミ 復
活！ 松井鉄工所訪
問記

2016年6月21日
熊本震災レポート
2

2016年6月9日
大工たちによる
「家康し」の記録

2016年5月21日
熊本震災調査レポ
ート

2016年4月28日
古川 保の熊本市川
尻町 震災日記

2016年5月31日
216 衆議院第二議
員会館 調査報告会
レポート

2016年10月27日
地域型住宅の省エ
ネ＆省エネを築るへ
2016.17 京都フォ
ラム報告

2016年6月14日
第16期 木の家ネッ
ト総会 高知大会 〜
会員発表〜

2015年11月13日
工務店・小田貴之
さん（オダ工務
店）：木の家づく
りのプロデューサ
ー

人気のある記事

伊勢神宮調査・御
社参り：200年
の木を伐る！
17件のビュー

冬の温暖化調査会
報
15件のビュー

家のお風呂 こう
やって作る、こう
やって保つ
15件のビュー

大工たちによる
「家康し」の記録
14件のビュー

工務店・西修正
さん（オダ工務
店）：木の家づく
りのプロデューサ
ー
10件のビュー

設計士・古川保
さん（古川保建
設計）：木の家づく
りのプロデューサ
ー
9件のビュー

設計士・川崎寛
さん（川崎建築計
画）：小さな石場
建ての家
9件のビュー

この記事のタグ

日本の山河を守りたい

赤堀橋雄の林材レポート

同じタグがついた別の記事

2007年5月25日
日本人の暮らしと木

2002年6月25日
林材ジャーナリスト・赤堀橋雄
さん：無理のない自然な存在、
それが木の家

2005年5月25日
緑の日本であり続けるために

2010年10月9日
森林・林業・地域再生を目指し
て

2009年4月30日
山への暮らしがなくなる？